

特定非営利活動法人こころみ会

就労継続支援 B 型事業所
トライハウス

工賃向上計画

(平成 3 0 年度～平成 3 2 年度)

平成 3 0 年 5 月 3 1 日

第1章 サービス提供の理念

平成13年4月「何事もやってみないとわからない。何事にもトライ」をキャッチフレーズに働く場、活動の場として、無認可の小規模作業所トライハウスを設立。平成15年2月「全ての人々が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに寄与すること」を目的に特定非営利活動法人こころみ会の認証を取得した。更なる障がい者支援充実のため、平成19年4月に就労継続支援B型に移行した。

法人の理念は、「わたしたちは、障がいをお持ちの方々が、住み慣れた地域で、ごく普通に、ごく平凡な暮らしができる環境づくりに貢献します。」基本方針は、「わたしたちは、安心して働き活動する場、機会を提供します。」「わたしたちは、つねに利用者本意の自立向上に挑み続けます。」「わたしたちは、法令を遵守し、個人の基本的な人権を尊重します。」「わたしたちは、利用者・そのご家族、職員・そのご家族、地域のみなさまに喜ばれ求められる法人を目指します。」を掲げ支援にあたっている。

第2章 トライハウスの現状等について

1 利用者の状況

現在トライハウスの定員及び登録利用者数、平均障害支援区分は以下のとおりである。

| 定員 | 登録利用者数 | 平均障害支援区分 | 障害支援区分 | |
|-----|--------|----------|---------|----------|
| 25人 | 29人 | 3.59 | 区分1： 0人 | 区分5： 2人 |
| | | | 区分2： 2人 | 区分6： 0人 |
| | | | 区分3： 5人 | 区分なし 12人 |
| | | | 区分4： 8人 | |

2 現在の作業の内容

現在工賃に算定している作業の内容としては以下のとおり

- ①農業（小ねぎ、せり、稲作、他季節野菜の栽培及び出荷・販売）
- ②リサイクル品回収（新聞紙等の古紙・アルミ缶・空き瓶の回収）
- ③事業所（トライハウス）内清掃
- ④その他（仕入販売・ギフト商品）

3 支援体制の状況

| | |
|-----------|----------------|
| 管理者 | 1人（生活支援員兼務） |
| サービス管理責任者 | 1人 |
| 職業指導員 | 3人（常勤1人、非常勤3人） |
| 生活支援員 | 1人（常勤） |
| 目標工賃達成指導員 | 1人（常勤） |
| 送迎ドライバー | 4人（非常勤） |
| 調理員 | 2人（非常勤） |

4 旧工賃向上計画（平成27年度～平成29年度）について

（1）旧工賃向上計画期間における、工賃向上に向けた取組みとその成果

①【取組み】「できること向上」支援を徹底する。

【成果】

- ・野菜計量をばね秤からデジタル秤に変えたことで、計量時間に係るスピード向上した。又、計量をできる利用者が増えた。
- ・作業台を特注したことで作業がしやすくなり、若干ではあるがスペースの確保に繋がった。
- ・朝礼・昼礼時、1日の作業内容、目標、成果を伝達、又、ホワイトボードにて掲示したことで作業に取り組む準備ができています。
- ・写真による工程表示や基準を作るが、収穫物の状態で変えざるを得ないことで戸惑う利用者も居られた。しかし、良品時は生産性が向上した。

②【取組み】周年野菜（小ねぎ）を安定出荷する。

【成果】

- ・27年度は、ビニールハウス4棟だけのため周年栽培はできなかった。又、台風によるビニールハウス全壊という被害もあり、改めてビニールハウス増設と強度なビニールハウスの必要性が再認識された。虫食いや色むら、生育むら、雑草被害もあり1棟当たりの収量が少なかった。
- ・28年度は、前年度同様、ビニールハウス数の不足、熊本地震により播種ができなかったことで、6月中旬から7月末、9月にかけて収穫ができなかった。助成金（清水基金）により、7月下旬、ビニールハウス2棟を新設することができた。10月、11月全国的な天候不順の影響で価格が高騰し収益アップに繋がった。

- ・29年度は、雨天など天候不順の影響で耕運や播種が計画通りできず、又、成長不順で収穫できない期間があった。
初めての試みで、冬場に播種を行うが収穫できるまでに3ヵ月を要することが分かった。
- ・(株)みらい像と土壌分析、施肥指導の契約を行い、現地視察、勉強会等を実施した結果、栽培技術が向上、品質の向上並びに収量増となった。

③【取組み】圃場の確保。

【成果】

- ・27年度は、園内畑(179坪)、廣江畑上段(400坪)、廣江畑下段(261坪)、道上畑(400坪)
道上883番地(1反)、道下1088番地(1.82反)、道下1114番地(2.52反)、道下1098番地(3.82反)
- ・28年度は、園内畑(179坪)、廣江畑上段(400坪)、廣江畑下段(261坪)、道上畑(400坪)、道上下段(900坪)、廣江小野さん畑(300坪)
道上883番地(1反)、道下1088番地(1.82反)、道下1114番地(2.52反)、道下1098番地(3.82反)
- ・29年度は、園内畑(179坪)、廣江畑上段(400坪)、廣江畑下段(261坪)、道上畑(400坪)、道上下段(900坪)、廣江永家さん畑(600坪)
道上883番地(1反)、道下1088番地(1.82反)、道下1114番地(2.52反)、道下1098番地(3.82反)、廣江(2.5反)

④【取組み】作業スペースの効率化を図る。

【成果】

- ・作業台のサイズ(高さ、広さ)がバラバラであったため、特注で揃え、作業スペースの確保と作業姿勢が良くなった。
- ・毎月1回、4S(整理・整頓・清掃・清潔)を実施し、加工場やテラス、トライの部屋に使用しない資材や器具等が置いてあり、又、同じものが点在していたため、不要な器具や資材は倉庫へ移動し、置き場に写真等で掲示したことで、メンバー自身で準備・片付けができるようになった。

(2) 各年度の目標工賃と工賃の実績

(単位：円)

| | H27 年度 | H28 年度 | H29 年度 |
|--------------|--------|--------|--------|
| 平均工賃月額【目標値】 | 15,000 | 15,100 | 15,200 |
| 平均工賃月額【実績値】 | 12,147 | 8,925 | 11,880 |
| 平均工賃時間額【目標値】 | 152 | 153 | 154 |
| 平均工賃時間額【実績値】 | 151.5 | 97.04 | 125.58 |

(3) 各年度の目標工賃と工賃の実績

旧工賃向上計画（平成27年度～平成29年度）期間における平均工賃の目標値と実績値については上記（2）の表のとおりであったが原因としては以下の要因が考えられる。

① マイナス要因

- ア 利用者数増加と就労収益増加が比例しなかった。
- イ ビニールハウスの不足
- ウ 栽培管理・技術が未確立のためか、安定した収量ができなかった。
- エ 作業スペースが点在し不足していることで、無駄な移動や工程がありスムーズな流れにできない。
- オ 市場出荷のため、価格変動がある。

② プラス要因

- ア 小ねぎ作業に於ける収穫作業やせり作業に於ける選別作業をメンバーができるようになった。
- イ 各作業工程を毎日行うことによりそれぞれにスピードが上がった。
- ウ ビニールハウスや圃場が増えた。
- エ 画図校区内からの古紙回収依頼が増えた。

5 これまでの取組みを通じて得た課題等

- (1) ビニールハウスの増設
- (2) 作業スペースの確保
- (3) 作業の効率化（生産性向上のため、作業工程の更なる見直し）
- (4) 作業しやすい圃場（浸水・冠水、土壌改善、雑草の対策）の整備
- (5) 各作業工程をできるメンバーを増やす
- (6) 就労種目のスリム化

第3章 今後の目標及び目標を実現するための取組み等

1 平成32年度の事業予想

現在の工賃を構成する各事業及び収支について、平成29年度と比較し

て、平成32年度は次のように変化していると予想する。

※別表の(1)、(2)を参照

(1) 平成29年度の事業（現状）

平成29年度工賃の原資（ 3,972,544 円）中

| 勘定科目 | | 合計 | ①農業 | ②リサイクル | ③事業所内清掃 | ④その他 |
|----------------------|------------------------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| 収 入 | 就労支援事業収入 | 6,594,776 | 5,480,403 | 602,380 | 362,400 | 149,593 |
| | 引当金戻入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 就労支援事業活動収入計 | 6,594,776 | 5,480,403 | 602,380 | 362,400 | 149,593 |
| 支 出 | 就労支援事業販売原価 | | | | | |
| | ・期首商品たな卸高 | 474,196 | 474,196 | 0 | 0 | 0 |
| | ・当期就労支援事業製造原価（工賃を 除く）及び当期商品仕入れ高 | 2,402,329 | 2,328,446 | 0 | 0 | 73,883 |
| | 計 | 2,876,525 | 1,200,508 | 0 | 0 | 0 |
| | ・期末商品たな卸高 | 254,293 | 2,548,349 | 0 | 0 | 0 |
| | 差 引 | 2,622,232 | 2,548,349 | 0 | 0 | 0 |
| | 販売費及び一般管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 徴収不能額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 引当金繰入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 就労支援事業活動支出計 | 2,622,232 | 2,548,349 | 0 | 0 | 73,883 |
| 就労支援事業活動収支差額＝工賃原資（A） | | 3,972,544 | 2,932,054 | 602,380 | 362,400 | 75,710 |

(2) 平成32年度の事業予想

平成32年度工賃の原資（ 4,140,000 円）中

| 勘定科目 | | 合計 | ①農業 | ②リサイクル | ③事業所内清掃 | ④その他 |
|----------------------|------------------------------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|
| 収 入 | 就労支援事業収入 | 7,050,000 | 6,000,000 | 600,000 | 150,000 | 300,000 |
| | 引当金戻入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 就労支援事業活動収入計 | 7,050,000 | 6,000,000 | 600,000 | 150,000 | 300,000 |
| 支 出 | 就労支援事業販売原価 | | | | | |
| | ・期首商品たな卸高 | 450,000 | 450,000 | 0 | 0 | 0 |
| | ・当期就労支援事業製造原価（工賃を 除く）及び当期商品仕入れ高 | 270,000 | 2,500,000 | 0 | 0 | 200,000 |
| | 計 | 3,150,000 | 2,950,000 | 0 | 0 | 200,000 |
| | ・期末商品たな卸高 | 240,000 | 240,000 | 0 | 0 | 0 |
| | 差 引 | 2,910,000 | 2,710,000 | 0 | 0 | 0 |
| | 販売費及び一般管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 徴収不能額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 引当金繰入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 就労支援事業活動支出計 | 2,910,000 | 2,710,000 | 0 | 0 | 0 |
| 就労支援事業活動収支差額＝工賃原資（A） | | 4,140,000 | 3,290,000 | 600,000 | 150,000 | 100,000 |
| 増 減 | | | | | | |

3 目標工賃の設定

第2章及び本章1の事項を踏まえ、平成30年度から平成32年度までの目標工賃を次のとおり設定する。

(単位：円)

| | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|--------------|--------|--------|--------|
| 平均工賃月額【目標値】 | 13,000 | 13,500 | 13,800 |
| 平均工賃時間額【目標値】 | | | |

【上記目標工賃の算出基礎となる工賃支払対象者の延べ人数について】

(単位：人)

| | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 工賃（月額）対象者延べ人数（※1） | 300人 | 300人 | 300人 |
| 工賃（時間額）対象者延べ人数（※2） | 人 | 人 | 人 |

平均工賃月額及び時間額を算出する際の工賃支払対象となる延べ人数を記載ください。

（※1）各月における工賃支払対象者の延べ人数の年間（全月）分の合計

例）工賃支払対象者が、4月10人、5月11人、6月12人、7月13人、8月14人、9月15人、10月16人、11月17人、12月18人、1月19人、2月20人、3月21人の場合、 $10+11+12+13+14+15+16+17+18+19+20+21=186$ 人となる

（※2）各日の時間毎の工賃支払対象者の延べ人数を算出。その年間（全日数）分の合計

4 目標工賃達成のための取組み

3で設定した目標工賃を達成するために、今後、次のことに重点的に取り組み、当該重点取組み事項の年度ごとの実施計画を下記表のとおり定める。

- (1) 「できること向上」支援を徹底する。
- (2) 周年野菜（小ねぎ）を安定出荷する。
- (3) 作業の効率化・機械化。

| | H30年度 | H31年度 | H32年度 |
|-----------------------|--|--|---|
| (1) 「できること向上」支援を徹底する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小ねぎ農家で出荷作業を見学、作業工程等を再度、見直す ・サイズ分け、結束工程をできるメンバーを増やす支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・サイズ分け、結束工程をできるメンバーを増やす支援及び生産性向上支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・同左 |

| | | | |
|-----------------------|---|--|---------------|
| (2) 周年野菜（小ねぎ）を安定出荷する。 | ビニールハウス 2 棟新設 | ビニールハウス 2 棟新設 | ビニールハウス 2 棟新設 |
| (3) 作業の効率化・機械化 | <ul style="list-style-type: none"> ・肥料散布機の導入 ・コンバインの購入 ・小ねぎ選別時間の確保（作業開始時間を早くする） ・雑草駆除対策の検討 ・小ねぎ農家での出荷作業を見学し、作業工程を見直す | <ul style="list-style-type: none"> ・田植機の購入 ・無駄な移動を減らす。 ・雑草駆除対策の確立 | |

5 計画の達成状況及び評価

本計画については、各年度において、前年度の実績を踏まえ、達成状況を点検・評価し、その結果に基づいて計画の見直し等所要の対策を実施するものとする。